

ちきゅうけん 第12回 地球研フォーラム
The 12th RIHN Forum

“共に創る” 地球環境研究

2013.6.29.sat

13:30-17:00 / 12:30開場 入場無料

国立京都国際会館 RoomD

京都市左京区宝ヶ池 地下鉄烏丸線 国際会館駅下車

主催：総合地球環境学研究所

後援：京都府教育委員会 / 京都市教育委員会

協力：京都府立北稜高等学校 (KES認証校、エコ京都21登録校)

京都府立洛北高等学校 (平成25年度文部科学省スーパーサイエンスハイスクール[SSH]研究指定校)

地球環境問題が広く取り上げられるようになって数十年が経とうとしています。地球サミットは3回開かれ、回を追うごとに研究者の役割も変わってきました。地球研も、学問と学問のつながりを超え、学問と社会のつながりのもとで地球環境問題の解決に向けた研究を展開するようになってきました。

地球環境研究は、もはや研究者だけで取り組める課題ではありません。地球に生きる私たちすべての生活にかかわることであり、この先もずっと向き合ふべき私たちの共通の課題ではないでしょうか？ 講演者と参加者が問題を共にみとめ、解決方法を共に見つけることに焦点をあて、地球環境研究を“共に創る”フォーラムを目指したいと思います。

【趣旨説明】 半藤逸樹 ●総合地球環境学研究所 特任准教授

「シベリアの自然と社会」
一文・理で共に創る面白さ・難しさ

檜山哲哉 ●総合地球環境学研究所 准教授

コウノトリと暮らす環境を共に創る

菊地直樹 ●総合地球環境学研究所 准教授

コメント

白石草 ●OurPlanetTV 代表 / 一橋大学 客員准教授

パネルディスカッション

【パネリスト】 檜山哲哉 / 菊地直樹 / 白石草

【座長】 熊澤輝一 ●総合地球環境学研究所 助教

【司会】 辻はな子 ●総合地球環境学研究所 研究協力課 係員

Twitterで随時
質問を受け付けて
います。みんなで
ディスカッションに
参加しよう!

総合地球環境学研究所 [RIHN]

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

TEL : 075-707-2492 FAX : 075-707-2510

http://www.chikyu.ac.jp/



Twitterアカウント
RIHN_Forum

6月3日(月)公開予定! フォーラム当日まで
関連情報などつぶやくので、フォローしてね!

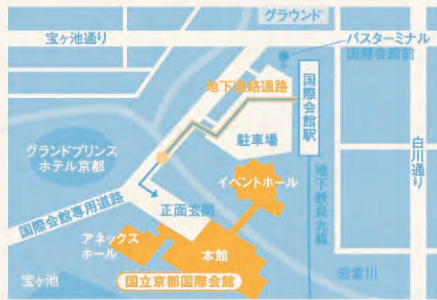
当日のパネリストへの質問は、Twitterで随時受け付けます。

質問にはハッシュタグ #rihn12 をつけて、ツイートしてください。(#rihn12がないツイートへの質問にはお答えできませんので、ご注意ください。また、#の前に半角スペースを入れるのも忘れずに) また、当日の質問以外にも、「地球環境問題」や「地球環境研究」に対する思いをどんどんつぶやいてください。#rihn12

公益財団法人 国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
TEL: 075-705-1234

市営地下鉄丸太線「国際会館駅」から徒歩5分。
改札から地下通路を通り出入口4-2をご利用ください。
出入口からは、歩廊に沿って雨に濡れずに正面玄関までお越し頂けます。



【お問い合わせ先】 平日8:30~17:00にお問い合わせください



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

研究協力課 地球研フォーラム事務局

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
TEL: 075-707-2492 FAX: 075-707-2510
E-mail: forum@chikyuu.ac.jp

【開会挨拶】

やすなり てつぞう
安成 哲三

@総合地球環境学研究所 所長



ほんどう いつき
半藤 逸樹

@総合地球環境学研究所 特任准教授

大学に入った1992年、地球サミットでのセヴァン・カリス=スズキ(当時12歳)のスピーチに衝撃を受け、地球環境問題の解決に貢献すべく研究者を目指してから20年。なぜ問題は未だに解決しないのか? どのような未来設計が必要なのか? 今回は初心に帰ってフォーラムの趣旨説明を行います。

Profile 2000年連合王国イースト・アングリア大学大学院環境科学研究所博士課程修了。Ph.D.(環境科学)。専門は地球システム科学、環境数理科学。現在は、全球化学汚染の動態予測・不確実性解析にフォーカス。地球研の研究推進戦略センターにてプロジェクト成果統合のための方法論の開発に携わり、「人間文化の限界」という新しいパラダイムを模索中。



ひやま てつや
檜山 哲哉

@総合地球環境学研究所 准教授

北極域と環北極域は、他の地域よりも地球温暖化が進行している地域です。シベリアでいったい何が起きているのか、昔はどうだったのか、これから先どうなっていくのか、そこに住む人々にも焦点を当てて研究しています。

Profile 専門は生態水文学。博士(理学)。名古屋大学准教授を経て2010年4月から現職。「温暖化するシベリアの自然と人 一水環境をはじめとする陸域生態系変化への社会の適応」プロジェクトリーダーとして、文理連携を実践中。共編書に「新しい地球学 一太陽-地球-生命圏相互作用系の変動学」、「水の環境学 一人との関わりから考える」(ともに、名古屋大学出版会)など。



きくち なおき
菊地 直樹

@総合地球環境学研究所 准教授

人里に暮らす日本有数の大型の鳥コウノトリは、人と自然の関係が変化したこともあり1971年に絶滅してしまいました。現在、兵庫県豊岡市周辺では、絶滅したコウノトリを取り戻そうと、農家も市民も行政も研究者も高校生も共になって環境づくりをすすめています。

Profile 専門は環境社会学。博士(社会学)。兵庫県立コウノトリの郷公園研究員(兵庫県立大学自然・環境科学研究所講師)を経て2013年2月より現職。「地域環境知形成による新たなコモンスの創生と持続可能な管理」プロジェクト共同リーダーとして、地域環境の再生に向けた領域融合的な研究を展開。主な著書に、「蘇るコウノトリ」(東洋館出版)など。



しろいし はじめ
白石 草

@OurPlanetTV 代表 一橋大学 客員准教授

専門的な科学という領域は、専門化・セグメント化が進み、分がりにくくなっています。専門家は何か問われる時代。一般の社会、人々と接点をつくり、新たな関係を構築するために何ができるのか、一緒に考えたいと思います。

Profile 放送局勤務を経て、2001年に非営利のインターネット放送「OurPlanetTV」を設立。独自番組の制作や映像ワークショップなどを展開。原発事故後の報道が評価され、放送ウーマン賞、JCI賞、やよりジャーナリズム賞奨励賞を受賞。著書に「メディアをつくる〜小さな声を伝えるために」(岩波書店)ほか多数。



くまざわ てるかず
熊澤 輝一

@総合地球環境学研究所 助教

今回は、研究テーマを研究者と市民の方がたの協働で考えるという、新しく挑戦的な企画です。議論が流れやすくなるよう、また、皆さんが発言しやすいよう、お手伝いできたらと思います。

Profile 2006年東京工業大学大学院総合理工学研究所博士後期課程単位取得退学。博士(工学)。専門は環境計画。里山保全運動を対象にフィールド調査と計算機実験を展開。地球研の研究高度化支援センターにて、地域社会のフィールドに散在する断片的な情報を組織化する研究を行い、地球研プロジェクト支援業務に携わる。



つし はなこ
辻 はな子

@総合地球環境学研究所 研究協力課 係員

地球環境研究にどんなイメージをお持ちですか?自分の生活に身近にあるもの?研究者が知らない間にやっている遠い世界のできごと?「地球環境研究ってなにしてるの?」そんな素朴な疑問を、ぜひ、会場にいらして研究者にぶつけてください。

Profile 広島大学生物生産学部生物生産学科海洋生物生産学コース卒業後、水族館飼育員やテーマパーク・クルーを経験。地球研の事務職員として働き始めて3年目。趣味のスキューバダイビングをきっかけに、地球環境問題に興味を持ち、地球研で働くことを決意した。地球環境研究の最先端で研究支援を行うことに誇りをもちながら、日々仕事に取り組んでいる。

参加申込書

今回のフォーラムは、Twitterでの質問・コメントを受け付けます。なお、会場の様子は、インターネットを介してストリーミング放送されます。あらかじめご了承のうえ、お申し込みください。

【申込方法】●郵便番号・住所 ●氏名(ふりがな) ●電話およびFAX番号 ●参加人数を明記のうえ、はがき、FAX、E-mailにて、「地球研フォーラム事務局」までお申し込みください。

締切 2013年6月21日(金)

定員(250名)に達した場合には、応募を締め切る場合があります。

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
総合地球環境学研究所 研究協力課 地球研フォーラム事務局

FAXでお申込みの方は右に必要な事項を記入し、そのまま送信してください。

住所	〒 -		
ふりがな		電話番号	
氏名		参加人数	人
FAX番号			

FAX

075-707-2510

e-mail

forum@chikyuu.ac.jp

*お寄せいただいた個人情報は、地球研が開催する催しの案内に利用させていただきます。